

福岡貿易会会員リレーエッセイ

リックス株式会社

代表取締役社長執行役員 安井 卓 氏

【はじめに】

株式会社トクスイコーポレーション徳島建征会長よりバトンを受け取りました。せっかく執筆の機会をいただきましたので、以下の3点についてご紹介させていただきます。一つ目は“簡単な会社の紹介”、二つ目は今注力をしている“インドでの事業”について、三つ目は“海外出張時の楽しみ“のお話しさせていただきます。

【会社紹介】

リックスは1907年(明治40年)の創業より115年以上の歴史をもつ企業です。来年は創業120周年の節目の年となります。創業当初は足袋の販売から始まり、地下足袋を官営八幡製鉄所に納めたのをきっかけに、鉄鋼業界をはじめとする各産業界にビジネスの場を広げてきました。

また、ビジネスを拡大していく中で製造部門を設置し、回転継手(商品名:ROCKY JOINT)をはじめとする、自社ブランドの“ROCKY”を冠した製品の製造販売も行ってきました。商社という一面だけでなく、メーカーとしての一面も持ち合わせています。

海外展開も積極的に行っており海外に7カ国12拠点(販社:8社、製造会社:4社)有しております。

現在では、お客様である大手製造業の生産現場で使用される設備や部品、消耗品などの生産財を取り扱う「顧客密着型のメーカー商社」と称しております。

お客様に密着していることで困りごとやニーズが入手しやすくなり、それを解決するソリューションを自社の製造部門はもとより様々な仕入先様各社より調達し、グローバルにお客様のものとへ提供することができます。

さらには、仕入先様各社の商品のコラボレーションやシステム化の提案など様々な解決策を創り出すことができます。いわゆる課題解決力が高いのが、顧客密着型メーカー商社の強みであります。



リックスの主力製品のロータリージョイント

※(商品名:ROCKY JOINT)

※固定された配管と回転する配管の継目で流体を漏らさずに送るための部品

【インド事業について】

弊社ではインドでの事業を拡大させています。IMFによればインドは2025年度のGDP成長率7.5%、26年度は少し下がりますが6.5%の予想となっております。今後も経済がどんどん成長する予想がされております。私も何度も現地に赴き、自分の目でインドを見てきました。街の中で感じるのは貧富の差はあるものの、全体的に活気があって現地の人は生き生きとしているように感じました。少しでも良い生活を手に入れようと活気にあふれている状況を見て、勝機があると確信しました。

我々は2018年にムンバイに販売会社を設立しました。設立後すぐにCOVID19ですぐに苦境に追い込まれますが、コロナショック後はすぐに回復してきており、当初設定していた開設10年での達成目標売上を大幅前倒しの約5年で達成しました。